

## 市町村図書館等 取組状況表

## 【各市町村の状況】

※特記事項 **モデルとなる取組**、**ヒト(人材)**・**モノ(サービス含)**・**ハコ(設備含)**における課題や要望

No	図書館名	最近の動向・定例行事等	現状・特色・強み・課題	データ	ハード・運営・その他
1	東洋町立図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未整理資料の整理、利用統計の記録</li> <li>○小学校への団体貸出(毎月)</li> <li>○介護施設等への配本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主に臨時職員1名が公民館も含めた業務を担当している。</li> <li>○公民館の中にあり、講座等で公民館に来た人が図書館に立ち寄るという利用が多い。</li> </ul>	【1人あたり貸出数】 0.4冊 【資料費】 255千円 【蔵書冊数】 38,000冊 【専任職員数】 0人	【図書館システム】 × 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【運営形態】 直営 【館数】 1
2	室戸市立市民図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○レイアウト変更(書架数減、低書架化、閲覧席増)</li> <li>○おはなし会や読み聞かせ、コーナー作りなど(サポーターと協力)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○臨時職員5名で運営。勤務日数に制限があるため、サポーター(4人)に頼る部分が多い。</li> <li>○数年前に大規模な耐震工事を実施。</li> <li>○簡易図書館システムを利用している。機能面も含め経年とともに業務への支障が出始めているので、<b>本年度に新システムを構築予定。</b></li> </ul>	【1人あたり貸出数】 1.5冊 【資料費】 3,808千円 【蔵書冊数】 79,703冊 【専任職員数】 0人	【図書館システム】 お気軽 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 △ 【運営形態】 直営 【館数】 1
3	田野町立図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○赤ちゃん向けの読み聞かせ「0・1・2おはなし会」を開始</li> <li>○県指定文化財岡御殿を活用した「岡御殿deおはなし会」を開始</li> <li>○おはなし会</li> <li>○「インスタグラム」を活用し、情報発信を強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長期雇用の委託職員1名(司書資格なし)と臨時職員1名、土日対応の臨時職員で運営している。</li> <li>○中芸地域唯一の図書館で、町外利用者への貸出が35%(5,717冊)を占めているため、統計上の人口1人あたり貸出数が非常に多い。</li> </ul>	【1人あたり貸出数】 5.9冊 【資料費】 1,533千円 【蔵書冊数】 35,795冊 【専任職員数】 0人	【図書館システム】 富士通 【WEB-OPAC】 ○ 【図書館ホームページ】 △ 【運営形態】 委託 【館数】 1
4	安芸市民図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○童っこ(おはなし会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託職員3名で運営しているが、貸出数が微減している。</li> <li>○<b>中高生の利用が少ない。</b></li> </ul>	【1人あたり貸出数】 2.3冊 【資料費】 3,977千円 【蔵書冊数】 72,674冊 【専任職員数】 0人	【図書館システム】 NEC 【WEB-OPAC】 ○ 【図書館ホームページ】 △ 【運営形態】 委託 【館数】 1
5	芸西村立図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ちいさなおはなし会(第1土曜日)</li> <li>○防音効果ドアを付けた静寂読書室を設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○司書が休みの日は臨時職員が対応。</li> <li>○村外利用者への貸出が21%(4,105冊)を占める。来館のきっかけ作りをいろいろと企画(子ども先生、絵本づくり教室、赤ちゃん連れ親子の呼び込み等)しているが、貸出数、予約件数が伸び悩んでいる。</li> </ul>	【1人あたり貸出数】 5.0冊 【資料費】 1,345千円 【蔵書冊数】 30,102冊 【専任職員数】 1人	【図書館システム】 富士通 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【運営形態】 直営 【館数】 1 【その他】読書通帳(手書き)
6	香美市立図書館 ・物部分館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新図書館を整備予定。令和4年1月開館を目指す。</li> <li>○基本計画策定、パブリックコメント実施</li> <li>○プロポーザル実施</li> <li>○実施設計：2019年度 開館予定：2021年度</li> <li>○吉村淑甫氏所蔵資料の寄贈</li> <li>○依光隆氏(挿絵画家)資料の寄贈</li> <li>○郷土資料の整理について業務支援(高知資料担当)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>正職員2人(館長含む)、非常勤職員5人(分館含む)と日々雇用の職員で運営しているが、マンパワーが課題。</b></li> <li>○物部分館は利用数は多くないものの市役所支所内にあることを活かし、教委や公民館担当職員と連携して業務にあっている。利用者の多くは来館時にそこにある本を借りるという使い方をしており予約や取寄せの依頼は少ない。</li> <li>○本館非常勤職員は長く学校図書館支援員をしており、ビブリオバトルの講師をする等児童サービスの経験が豊富。</li> <li>○高知工科大学との連携(大学からの図書提供等)あり。</li> </ul>	【1人あたり貸出数】 3.1冊 【資料費】 3,900千円 【蔵書冊数】 62,047冊 【専任職員数】 2人	【図書館システム】 富士通 【WEB-OPAC】 ○ 【図書館ホームページ】 △ 【運営形態】 直営 【館数】 3
7	香南市図書館 ・野市図書館 ・香我美図書館 ・夜須中央公民館図書室	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中庭の開放(読書・軽食可)</li> <li>○子ども司書養成講座</li> <li>○読書ボランティア養成講座</li> <li>○インターネット予約開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館(2館)は専任職員1名(事務職)、嘱託6名(館長含む)、臨時2名での運営。</li> <li>○比較的コンパクトな地域にまんべんなく図書館やサービスポイントがあり、高知市・南国市の図書館にもアクセスが良いため、読書環境は恵まれている。</li> <li>○<b>ティーンズ世代の利用促進のための施策検討・実施が急務。</b></li> </ul>	【1人あたり貸出数】 3.3冊 【資料費】 5,989千円 【蔵書冊数】 12,3669冊 【専任職員数】 1人	【図書館システム】 富士通 【WEB-OPAC】 ○ 【図書館ホームページ】 △ 【運営形態】 直営 【館数】 2 公民館図書室1 物流拠点2
8	南国市立図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正規職員(行政職・司書資格あり)の配属あり</li> <li>○「市町村立図書館個別支援アドバイザー事業」実施</li> <li>○「どこでも研修(図書館建設)」の実施</li> <li>○Twitter開始 読書通帳機能導入(シール貼付式)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○移動図書館の運行や学校への配本支援等、基本的なサービスが実施されている。</li> </ul>	【1人あたり貸出数】 2.6冊 【資料費】 7,471千円 【蔵書冊数】 104,464冊 【専任職員数】 2人	【図書館システム】 富士通 【WEB-OPAC】 ○ 【図書館ホームページ】 △ 【運営形態】 直営 【館数】 1 【その他】図書消毒機、読書通帳機能、移動図書館
9	土佐市立市民図書館 ・宇佐分館 ・戸浪分館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土佐市複合文化施設 新図書館建設 着工 竣工：2019年9月 開館：2019年度内</li> <li>○開館後の資料不足補填のため、2年間2000冊の一括貸出の要望あり</li> <li>○読み聞かせや古文書勉強会等の各種勉強会を継続して実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本館は館長(専任職員・司書資格あり)含めて5名、各分館は実質的に臨時職員1名(司書資格なし)で運営している。</li> <li>○<b>職員の異動や休職によるベテラン職員不在や、新館運営のためのマンパワーが課題。</b></li> <li>○<b>施設の老朽化や駐車場不足等の影響</b>で、近隣市町村の図書館へ利用が流れている可能性もあり。</li> </ul>	【1人あたり貸出数】 2.1冊 【資料費】 4,600千円 【蔵書冊数】 89,080冊 【専任職員数】 2人	【図書館システム】 NEC 【WEB-OPAC】 ○ 【図書館ホームページ】 ○ 【運営形態】 直営 【館数】 3
10	須崎市立図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新館建設検討開始</li> <li>○元小布施町立図書館長 花井裕一郎氏による講演実施(図書館まつり)とワークショップ開催(3回)</li> <li>○2019年3月に基本構想策定のため検討委員会を設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○館長(非常勤)と臨時職員2名で運営。3人全て揃うことは月2、3回程度。また、職員の育成や中長期的なサービスの検討が困難。</li> <li>○「かわその里おはなしの会」と連携した比較的大規模の大きい読書関係イベントが定期的に開催されている(子どもゆめ基金活用)。</li> <li>○須崎市生涯学習課が窓口となり、子ども司書事業を例年実施している(図書館では基礎研修の一部や図書館実習を行う)。</li> </ul>	【1人あたり貸出数】 1.4冊 【資料費】 1,552千円 【蔵書冊数】 36,669冊 【専任職員数】 0人	【図書館システム】 富士通 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【運営形態】 直営 【館数】 1

No	図書館名	最近の動向・定例行事等	現状・特色・強み・課題	データ	ハード・運営・その他
11	土佐町立図書館	<p>○NPO法人SOMAに業務委託（昨年までは個人・シルバー人材センター委託）</p> <p>○図書館システム更新（ブレインテック「情報館」）、所蔵の再登録、蔵書点検、館内レイアウト変更を実施（2019年1～3月休館）</p> <p>○県立図書館の「どこでも研修（図書館サービスの基礎、資料組織化、レファレンス、簡易修理）」を実施</p> <p>○Twitter、Facebook開始</p> <p>○前年度より図書館デザイン会議実施</p>	<p>○SOMA職員3名で運営している。</p> <p>○SOMAは町内で教育支援等を行っているNPOでITを活用した企画や情報発信、県外の団体や専門家等との連携に強みを持つ。</p> <p>○「情報」を提供できる図書館にしていきたいとの希望あり。今後は、蔵書管理の改善や、OPACの公開による利便性向上も期待できる。</p> <p>○嶺北地域唯一の図書館だが、町外利用者の貸出冊数は特に多くない。</p>	<p>【1人あたり貸出数】 3.0冊</p> <p>【資料費】 866千円</p> <p>【蔵書冊数】 21,237冊</p> <p>【専任職員数】 0人</p>	<p>【図書館システム】 ユーリウド</p> <p>【WEB-OPAC】 ×</p> <p>【図書館ホームページ】 ×</p> <p>【運営形態】 委託</p> <p>【館数】 1</p> <p>【その他】 フリーWi-Fi</p>
12	いの町立図書館	<p>○子どもの読書活動文相大臣表彰</p> <p>○本との出会い推進員（図書館配置）との連携による学校図書館支援、移動図書館の運行</p> <p>○本との出会い推進事業（読み聞かせ、食育講座等）による関係機関との連携</p> <p>○フリーWi-Fi提供開始</p>	<p>○専任の司書1名と臨時職員10名で運営。4名は「本との出会い推進員」として主に乳幼児支援・学校図書館支援に携わっている。</p> <p>○町外利用者への貸出が約31%（20,880冊）と高い。</p> <p>○枝川地区に分室あり。吾北・本川・天王地区には移動図書館が巡回している。</p> <p><b>【図書環境】</b></p> <p>○「待つ」だけでなく「出かけていく」図書館として、いろいろな機会に積極的に出向くことに力を入れている。柔軟な発想を持ち、いろいろな機関と連携して図書館の可能性を探っている。</p> <p>○図書館バスの貸出数は3年間で倍に伸びた。</p> <p>○今後は、地域の人やモノがつながるような仕組みや仕掛けを発信できる図書館が必要だと考えている。</p> <p>○ボランティア</p> <p>ボランティアを要請し小学校へ派遣していたが、ボランティア活動自体が定着し、それぞれの学校に所属する形に発展し、学校と直接やり取りをしている。今後も<b>活動場所を紹介できるような仕組みづくりやボランティア同士の交流が図れる機会の提供など、図書館はつなぎとしての役割を担いたい。</b></p> <p><b>○図書館バスによる地域巡回について</b></p> <p><b>5月・図書館バス(2トントラック 1600冊以上搭載)による遠隔地域の巡回と学校への訪問・配達・回収を行っている。</b></p> <p><b>2月・バス専任職員が地域(利用者)のニーズに合わせて選書し、積み替え、貸出手続きなどほとんどの業務を一人で担っている。また、自ら会社や商店、郵便局、道の駅等に立ち寄り、新規ステーションの獲得に努めてきた。</b></p> <p><b>8日 ○本との出会い推進事業</b></p> <p><b>訪いの町の「町・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、本との出会い推進員4名が妊娠前から中学生までの町に生まれ育つすべての子どもたちに本を通じた豊かな感性・創造力の育成を目標に本との出会いを提供する。</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○現在のスタッフの人数では、新規のイベントや企画の実施をする余裕がない。</p> <p>○サービスの拡大や充実が利用者増につながるが業務が多忙になり人手不足となるため事業の見直しも必要。</p> <p>○ホームページや情報発信ツール(ブログやフェイスブック等のSNS)を充実させたいがノウハウや時間がない。</p> <p>○不読率0%に向けた取組をしたいが、高学年～中学生以上へのアプローチが難しい。</p> <p>○働く世代の利用は少ない。それに関連し、利用者から開館時間を伸ばしてほしいという要望がある。</p> <p><b>【要望】</b></p> <p>○サービス研修会や職員間の交流の機会を充実させて欲しい。</p> <p>○県外研修の旅費などを補助して欲しい。</p>	<p>【1人あたり貸出数】 2.8冊</p> <p>【資料費】 4,463千円</p> <p>【蔵書冊数】 90,312冊</p> <p>【専任職員数】 1人</p>	<p>【図書館システム】 NEC</p> <p>【WEB-OPAC】 ○</p> <p>【図書館ホームページ】 ○</p> <p>【運営形態】 直営</p> <p>【館数】 1 サービスポイント 1</p> <p>【その他】 移動図書館、フリーWi-Fi</p>
13	日高村立図書館	<p>○前任の専任司書の退職に伴い、新規採用あり</p> <p>○役場庁舎建替（2020年度内完成予定）により周辺環境が整備されれば図書館へのアクセスにも好影響</p>	<p>○専任司書1名と臨時職員2名で運営。うち1名は学校図書館支援員経験者で図書館での勤務年数も比較的に長い。</p> <p>○開館（2016年）から2年。全国平均以上の資料費が確保されており、蔵書の充実を図りつつある。</p> <p>○新規利用者も増加傾向で村外利用者への貸出が29%(6,779冊)と高い。特に佐川町からの利用が多い印象。</p> <p>○施設が魅力的で、近隣に学校もあり、村のイベントの発表やお披露目の場として利用される機会も多い。</p> <p><b>○村の基盤産業である農業に重点を置いた資料収集・サービスにも取り組む方針。</b></p> <p><b>【図書環境】</b></p> <p>○地域一体型の図書利用として、学校との連携やイベントの実施などを通じて住民には「日高村の図書館」としての利用を促す。</p> <p>○教育委員会の方針に図書館の運営が組み込まれており、図書館を多目的に活用し、社会教育事業の支援やキャリア教育のフォローアップにも柔軟に対応できる。</p> <p>○県（小中学校課）の読みを鍛える拠点校事業の指定も受け、本の活用を重要視している。</p> <p>○教育支援室も図書館内にあるため、親子の読み聞かせの利用も多い。</p> <p>○文化活動について</p> <p>・一人でも多くの村民が文化的なものに触れられる環境づくりを目指して、図書館を日高村の文化的施設として位置付けている。</p> <p>・昨年度は武政建夫のガラス彫刻地域巡回展、今年度は桐野伴秋の写真作品展のイベントを実施。村長が面談があったことや、コンセプトの合致などがあり実施できた。（両展覧会共に約1,000名が来館。村内保育園、小学校及び中学校の団体見学や、中学生向けの講演も実施。）</p> <p>○学校との連携</p> <p>・学校図書費の充実が厳しく、図書館の団体貸し出しにより補完している。</p> <p>・図書館の運営委員に村内小学校長が就いていることで、図書館の役割の理解も深めてもらっている。</p> <p>○読書ボランティア</p> <p>・図書館や学校での読み聞かせや図書館運営支援、日高村の民話の発表など実施。</p> <p>・多目的ホールで小学生を対象に土佐弁の朗読指導も実施。学校と連携した図書館の環境整備も行っている。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○村民の利用登録率が25%で、効果的な広報がより必要。また、高校生世代の利用が少ない。</p> <p><b>【要望】</b></p> <p>○公立大学などの教員による講演会開催へ向けた仲介システムの構築。</p> <p>○イベントの題材や広報の仕方についてのアドバイス</p>	<p>【1人あたり貸出数】 4.5冊</p> <p>【資料費】 5,391千円</p> <p>【蔵書冊数】 33,715冊</p> <p>【専任職員数】 1人</p>	<p>【図書館システム】 富士通</p> <p>【WEB-OPAC】 ○</p> <p>【図書館ホームページ】 △</p> <p>【運営形態】 直営</p> <p>【館数】 1</p>
14	佐川町立図書館	<p>○新館建設検討開始</p> <p>・新図書館整備方針策定委員会設置</p> <p>・青山文庫等との複合施設を計画</p> <p>工事着手：2022年度 開館：2023年度見込み</p> <p>○委員会アドバイザーを嶋田学氏（瀬戸内市民図書館長）に依頼</p> <p>○総務省委嘱地域情報化アドバイザーとして岡本真氏（ARG）参加</p>	<p>○館長と臨時職員3名で運営。図書館勤務の経験がある職員はいない。</p> <p>○2016年に指定管理を直営に変更し、専任の館長が配置されている。</p> <p><b>【図書環境】</b></p> <p>○利用者の固定化がかなり進んでいる。平日には退職者、休日には親子連れが利用。</p> <p>○児童図書蔵書が多く、一般図書と児童図書の比率では6：4になる。</p> <p>○指定管理から直営に戻したが、去年から利用率など増え始めV字回復の兆しが見えてきた。特に、図書館相互貸借(ILL)は飛躍的な伸びで、3年前からと比べると30%上昇。</p> <p>○オーテピアで借りた本の返却で初めて町図書館を訪れた人が、新規登録を行うことも増えている。</p> <p>○指定管理時に館長格的役割を担っていた人物が月1回、館内で絵本の読み聞かせ活動をしている。また、各学校に読書支援も行っている。</p> <p>○他部署との連携</p> <p>指定管理時に館長格的役割を担っていた人物は教育委員も含め、町内の様々な団体の理事・役員に就いているため、<b>その立場から図書館職員だけでは企画できない取組を企画してくれる。</b></p> <p>○ボランティアについて</p> <p>・<b>佐川町のボランティアグループとして認定してしまおうと負担感を感じられるため、組織化が難しい。</b></p> <p>・図書館環境（草刈り、掃除、週2日自腹で花を生けてくれる）に個人的に手を貸してくれる町民がいる。</p> <p>・新図書館建設の整備方針策定委員会委員たちはそれぞれ図書館に想いのある人たちなので、図書館建設後、ボランティアにつながればと思っている。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○学生から働く世代の利用が限定的。</p> <p>○9年間指定管理で運営されていたため、行政の内部に図書館の現状を知られていない。</p> <p><b>【その他】</b></p> <p>○新図書館開館に向けての人材育成として、オーテピアに長期研修の受け入れは可能であるか。</p> <p>→県立図書館：対応はできると思われる。</p>	<p>【1人あたり貸出数】 2.0冊</p> <p>【資料費】 1,292千円</p> <p>【蔵書冊数】 29,985冊</p> <p>【専任職員数】 1人</p>	<p>【図書館システム】 NEC</p> <p>【WEB-OPAC】 ×</p> <p>【図書館ホームページ】 ×</p> <p>【運営形態】 直営</p> <p>【館数】 1</p>

No	市町村名	最近の動向・定例行事等	現状・特色・強み・課題	データ	ハード・運営・その他
15	橋原町立図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2018年5月町立図書館開館</li> <li>○太田剛氏（図書館と地域を結ぶ協議会）がプロデュースし、書架計画・助言等を継続的に実施</li> <li>○コンサート、映画会、ボルダリング教室等を定期的に開催</li> <li>○横断検索参加について照会あり</li> <li>○どこでも研修（図書館サービスの基礎）の実施</li> <li>○来館者10万人達成（2019年2月）</li> <li>○県BM利用終了（2019年度から）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員は館長を含めて7名。司書職員3名採用（有資格者2名）。</li> <li>○カメレオンコード（LENコード）による資料管理や独自分類を採用。</li> <li>○夜間開館（21時）の実施や、カフェ、ボルダリング、物販の検討、館内での飲食（場所指定）、飲酒の一部容認など、従来型ではないサービス指向。町民が文化に触れる機会の創出や来館者数を重視していると思われる。</li> <li>○配架も含め館全体が一種の「作品」となっている。</li> <li>○話題性や情報発信力に強みがあるため、観光客や図書館関係者、建築関係者の視察も多い。愛媛県民も貸し出し可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【1人あたり貸出数】 - 冊</li> <li>【資料費】 - 円</li> <li>【蔵書冊数】 38,000冊</li> <li>【専任職員数】 4人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【図書館システム】 K-PLEX【WEB-OPAC】○</li> <li>【図書館ホームページ】○</li> <li>【運営形態】 直営</li> <li>【館数】 1</li> </ul>
16	四万十町立図書館・大正分館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町立図書館本館と美術館等の複合文化的施設整備計画 開館予定：2022年度</li> <li>○アドバイザーとして岡本真氏ARG（岡本真氏）に委託</li> <li>○WEB-OPACの運用開始</li> <li>○古文書を読む会、あみぐるみ教室等の実施</li> <li>○読み聞かせボランティア勉強会『えほんのはこ』、「子どもに絵本や読書の橋を架ける連続講座」、読み聞かせ会、ピリオバトル等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○嘱託職員を中心に主に8名（分館含め）で運営している。本館の窓口業務にはシルバー人材センターも入る。十和地区は、地域振興局ロビーに図書コーナーを設け、町立図書館からの配本と県立BMの図書が置かれている。貸出対応等は町民生活課が担当している。</li> <li>○移転整備については経験豊富な外部アドバイザーを迎え準備を進めており、住民参加のワークショップや検討委員会、講演会も定期的に開催している。2018 基本構想・2019 基本計画・2020 設計業務</li> <li>○WEB-OPACの運用を開始し利便性が向上した。今後、利用者に活用してもらうための仕掛けや、WEBサービスの拡充を考える必要がある。</li> <li>○ケーブルテレビによる広報を継続して実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【1人あたり貸出数】 4.8冊</li> <li>【資料費】 12,969千円</li> <li>【蔵書冊数】 154,809冊</li> <li>【専任職員数】 0人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【図書館システム】 ソフテック【WEB-OPAC】○</li> <li>【図書館ホームページ】△</li> <li>【運営形態】 直営</li> <li>【館数】 2 物流拠点1</li> <li>【その他】読書通帳（手書き）</li> </ul>
17	越知町立本の森図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校との連携（学校支援員が常駐し定期的な連携会議あり）</li> <li>○入院患者、介護施設への出張サービス実施</li> <li>○地域おこし協力隊等との企画協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営は臨時職員2名（司書1名）。教委のバックアップ体制あり。</li> <li>○開館（2013年）から年数が短く開架エリアも小規模なことから、現時点では蔵書の新鮮度は高い。</li> <li>○アウトリーチやレファレンスにより利用者への働きかけを積極的に実施している。</li> <li>○一括貸出やセット貸出の利用は少なく、利用者・学校のレファレンスに基づいた協力貸出が主となっている。</li> <li>○外部との連携力が強く、イベントの実施などにも生かされている。</li> <li>○仁淀川町や佐川町からの利用が多く、個人貸出の約57%（9,736冊）を町外利用者が占めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【1人あたり貸出数】 2.9冊</li> <li>【資料費】 2,145千円</li> <li>【蔵書冊数】 20,900冊</li> <li>【専任職員数】 0人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【図書館システム】 お気軽【WEB-OPAC】×</li> <li>【図書館ホームページ】×</li> <li>【運営形態】 直営</li> <li>【館数】 1</li> <li>【その他】図書消毒機 読書通帳の発行</li> </ul>
18	四万十市立図書館・西土佐分館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○おはなし会（英語のおはなし会あり）</li> <li>○バリアフリー展示とバリアフリー映画会</li> <li>○Twitter、Facebookでの情報発信</li> <li>○郷土資料（寄贈分）の資料整理</li> <li>○学校での読み聞かせ実施</li> <li>※指定管理者：株式会社図書館流通センター（R1～5年度）2期目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定管理になって4年目。</li> <li>○西土佐分館は直営時代からの職員が中心に勤務しており大きな変化はないが、学校との連携や、図書館での工作イベントなどをより一層充実させている。</li> <li>○地理的な要因もあり本館と分館の交流は少ない。分館は四万十町十和地区からの利用もあり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【1人あたり貸出数】 2.3冊</li> <li>【資料費】 4,926千円</li> <li>【蔵書冊数】 68,504冊</li> <li>【専任職員数】 0人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【図書館システム】 富士通【WEB-OPAC】○</li> <li>【図書館ホームページ】○</li> <li>【運営形態】 指定管理</li> <li>【館数】 2</li> <li>【その他】図書消毒器、読書通帳（手書き）</li> </ul>
19	津野町立図書館・かわろそ館・虎太郎館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2期図書館運営5か年計画（平成29～33年度）策定 [目標値] 蔵書数：55,800冊 貸出冊数：48,000冊（1人あたり8.0冊）</li> <li>○本の宅配開始（非公式 福祉系の家庭訪問時に必要に応じて案内）</li> <li>○読み聞かせボランティア研修、読書会等実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主に3名の臨時職員（すべて司書資格あり）で運営。アウトリーチ担当が1名おり学校等との連携が取れている。</li> <li>○パート職員はかわろそ館、虎太郎館にそれぞれ4人ずつ配置されており、司書職員が休憩に入ったときや移動図書の手伝いをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【1人あたり貸出数】 5.1冊</li> <li>【資料費】 9,742千円</li> <li>【蔵書冊数】 52,099冊</li> <li>【専任職員数】 0人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【図書館システム】 ソフテック【WEB-OPAC】○</li> <li>【図書館ホームページ】○</li> <li>【運営形態】 直営</li> <li>【館数】 2</li> <li>【その他】移動図書館（巡回車）、コピーの提供（セルフ、有料）</li> </ul>
20	黒潮町立図書館・大方図書館・佐賀図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○佐賀図書館の移転計画 移転予定：2019年度末（予定）</li> <li>○大方あかつき館（図書館併設）開館20周年イベントの開催</li> <li>○新館長の就任</li> <li>○ブックフェア（除籍本の譲渡会）</li> <li>○映画会、人形劇の上演、よみきかせ会の実施</li> <li>○町内小中学校の「学校だより」を収集し、1階ロビーで展示</li> <li>※指定管理者：NPO法人あかつき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員は7名（臨時職員2名）。直営時代の図書館職員が立ち上げたNPOが運営を始めて5年余りになる。図書館2館に加え、上林晩文学館やホールの企画運営業務もあり、マンパワーが課題。</li> <li>○佐賀図書館は、この約10年間で3度目の改修・移転で、今回が一番大規模な移転となる予定。面積は現在の倍程度になる見込み。</li> <li>○ホームページが充実しており、館長のブログや「図書館だより」のバックナンバーも見ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【1人あたり貸出数】 3.3冊</li> <li>【資料費】 3,124千円</li> <li>【蔵書冊数】 47,757冊</li> <li>【専任職員数】 0人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【図書館システム】 NEC【WEB-OPAC】○</li> <li>【図書館ホームページ】○</li> <li>【運営形態】 指定管理</li> <li>【館数】 2</li> </ul>
21	土佐清水市市民図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療・健康情報コーナー（闘病記コーナー）</li> <li>○ピリオバトルの開催</li> <li>○障害者サービス(点字・デジタル録音図書貸出、対面音訳等)</li> <li>○Facebookでの情報発信</li> <li>○おはなし会の実施</li> <li>○土佐清水市読書感想文コンクール</li> <li>※指定管理者：NPO法人図書館結の会（H30～35年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館の基本的サービスに加え、県内の図書館で初めてフリーWi-Fiを導入、ピリオバトルの実施などの先進的な取組も行っており、また昭和55年から市内各地への移動図書館の巡回も継続して行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【1人あたり貸出数】 4.0冊</li> <li>【資料費】 5,331千円</li> <li>【蔵書冊数】 91,823冊</li> <li>【専任職員数】 0人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【図書館システム】 富士通【WEB-OPAC】○</li> <li>【図書館ホームページ】○</li> <li>【運営形態】 指定管理</li> <li>【館数】 1</li> <li>【その他】移動図書館、フリーWi-Fi</li> </ul>
22	宿毛市立坂本図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み聞かせボランティア研修</li> <li>○図書館システム更新に向けた調査・情報収集</li> <li>○配架・レイアウトの見直し</li> <li>○読書会（図書館職員も参加）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○窓口業務はNPOに委託。職員4名が対応。事務は専任職員2名が行っており、うち1名は司書資格を持っている。</li> <li>○今年度も館長が生涯学習課に席があり、図書館業務に携わることは基本的にない。</li> <li>○新しい担当者が図書館の業務に積極的に取組んでおり、県立図書館主催の研修にも積極的に参加している。</li> <li>○図書館システムが非常に古い（H22更新）。再来年度の更新に向けた支援が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【1人あたり貸出数】 3.3冊</li> <li>【資料費】 5,037千円</li> <li>【蔵書冊数】 91,346冊</li> <li>【専任職員数】 2人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【図書館システム】 富士通【WEB-OPAC】○</li> <li>【図書館ホームページ】○</li> <li>【運営形態】 一部委託</li> <li>【館数】 1</li> <li>【その他】雑誌スポンサー制度</li> </ul>

No	市町村名	最近の動向・定例行事等	現状・特色・強み・課題	データ	ハード・運営・その他
23	大月町立図書館	○図書館を含めた新たな複合施設の検討が始まる ・複合施設検討準備委員会を設置（6月）	○公民館内の図書館であるため、公民館と図書館の業務を臨時職員1名で行っていることから、図書館業務だけに注力することができず、状況改善が難しい。 ○ <b>話題の本を買って、それだけで予算を使い果たしてしまう。</b> 担当者としても、図書館として必要な基本的な辞書や事典などを買い揃えたいと思っはいる。 5月9日訪問 ○柏島公民館の物流拠点化について ・柏島公民館に物流拠点を設けるか調整中。中央公民館で借りて、柏島に届けるルートをつくることは可能。 【課題】 ○ <b>公民館職員と臨時職員で対応しているが、1,2年で異動するため専門的な知識を持つ人が育たない。</b> 【要望】 ○社会教育活動や文化講演に人が来ないため、魅力的な事業を増やしてほしい。	【1人あたり貸出数】 0.8冊 【資料費】 349千円 【蔵書冊数】 12,193冊 【専任職員数】 0人	【図書館システム】 OEC 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【運営形態】 直営 【館数】 1
公 民 館 図 書 館 等					
24	奈半利町 ・町民会館図書室	○小学生を対象としたイベントの実施 ・夏休みは読書によるスタンプラリーやビンゴゲームを実施 ・秋の読書週間では学校と連携し、図書の関連クイズを出題	○臨時職員1名（元・子どもの読書活動支援員）が図書室業務を担当。週3日は町内の小・中学校図書室で勤務。職員が不在のときや土日は同じフロアにある教委職員やボランティアが対応している。 ○資料費は未設置町村の中では上位にある。	【1人あたり貸出数】 1.6冊 【資料費】 500千円 【蔵書冊数】 6,305冊 【専任職員数】 - 人	【図書館システム】 × 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【物流拠点数】 1
25	北川村 ・村民会館図書室		○図書業務は主に教委の非常勤職員1名が対応している。勤務歴は長い。 ○小学校での読書推進活動は行われている。 ○利用者は主に小、中学生。宿題や放課後過ごす場所としての利用が多い。館の出入口の受付窓横に30冊ほどの成人向けの本を置いてある。大人はこちらの利用が多い。	【1人あたり貸出数】 0.38冊 【資料費】 24千円 【蔵書冊数】 4,200冊 【専任職員数】 - 人	【図書館システム】 × 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【物流拠点数】 1
26	馬路村 ・馬路村地区図書室 ・魚梁瀬多目的施設	○就業改善センター建替予定（図書室や教育委員会、防災センター等の多目的施設を予定） ・現在、センターの機能は移動しているため施設は空。今年度中に取り壊し予定。 ・令和2年度末の完成を目指す ○役場の隣にプレハブを設置し移転（2019年4月）	○ <b>図書室業務は教委の臨時職員が兼務対応。日常的な図書サービス実施は難しく、図書室が無人であることが多い。</b> ○就業センター建替え・図書室整備の参考のために、規模の近い他市町の視察を行う。建替えを機に、環境改善を図りたい意向。 ○馬路地区では主に地域おこし協力隊の方が協力貸出を利用している。 5月10日訪問 【課題】 ○センターで行われていた定期的な教室（ピラティス、フラダンス）のついでに、図書室を利用する人がいたが、現在はわざわざ図書室に立ち寄り人がなくなり、利用者数が減少。 【要望】 ○ <b>図書の在庫状況を検索できるようなシステムの導入支援。</b> ○ <b>蔵書のマンネリ化の防止のため、県立図書館が行っている巡回図書の本数を増やしてほしい。</b> 【その他】 ○巡回図書などは村内放送（全戸に放送器具整備）で周知している。 ○村内では2人のボランティアが学校や保育園、就学前の親子に読み聞かせなどの読書活動をしている。	【1人あたり貸出数】 1.5冊 【資料費】 150千円 【蔵書冊数】 - 冊 【専任職員数】 - 人	【図書館システム】 × 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【物流拠点数】 2
27	安田町 ・文化センター図書室	○ボランティアによる読み聞かせ（図書室・福祉館で月1回） ○広報誌の作成（町内：1回/月、園学校：1回/1ヶ月又は2ヶ月）	○読書支援員（学校図書司書教諭資格取得者）が教委業務との兼務で図書の購入・受入を行っている。新刊を購入したタイミングで広報誌を作成するなどしている。常連の利用者が多いが、広報誌を見て来る方もあり。	【1人あたり貸出数】 0.53冊 【資料費】 200千円 【蔵書冊数】 8,060冊 【専任職員数】 - 人	【図書館システム】 × 【WEB-OPAC】 ○ 【図書館ホームページ】 × 【物流拠点数】 1
28	大豊町 ・教育委員会	○教育委員会（物流サービス拠点）移転 ○読書週間の読み聞かせ等実施 ○総合ふれあいセンター（元・物流サービス拠点）ロビーに図書コーナーあり	○図書業務を専門する職員が実質的に不在。 ○教委（物流拠点）が町中心部から本山町境へ移転。 ○総合ふれあいセンター（住民課所管）の図書コーナーには新刊書があり、分類も一定できている。整理は月1回程度学校図書室支援員が行っている。以前はセルフ方式だった貸出は利用登録が必要になっているが、窓口が無人の時もあるので、徹底は難しい模様。	【1人あたり貸出数】 0.08冊 【資料費】 150千円 【蔵書冊数】 690冊 【専任職員数】 - 人	【図書館システム】 × 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【物流拠点数】 1
29	本山町 ・本山さくら図書室	○蔵書の分類、システム登録（利用者登録・貸出返却等への利用は未実施） ○室内リニューアル実施 ○高知新聞に職員紹介記事 ○元年7月下旬より学習室の開設	○ <b>施設の老朽化・狭域で制約は多いが</b> 、図書室専属の臨時・パート職員（司書資格なし）が常駐し、ニーズの聞き取りや協力貸出・県立BMの積極的な活用を行っており、図書室としては高い利用率を保っている。土日祝の午後も職員を配置して開館している。 ○簡易システムを導入。「どこでも研修」も参考に、職員が資料登録を行い、郷土資料以外は検索が可能な状態に整理されている。 ○現在は教委担当職員の積極的なサポートを得られている。 ○議場が図書室2階にあることから、議会で図書室の話題が出る機会も他市町村に比べて多い。図書室の拡充を希望する意見がある一方、現在のアットホームな雰囲気や好む利用者もいる。高齢者の利用も増えている。 ○昼休み、休日前、開館時間延長のための人員確保	【1人あたり貸出数】 2.2冊 【資料費】 410千円 【蔵書冊数】 9,375冊 【専任職員数】 - 人	【図書館システム】 お気軽 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【物流拠点数】 1
30	大川村 ・ことな館	○2011年ことな館整備 ○地区別に行われる高齢者の集会での貸出、図書紹介 ○利用者の自宅への出張貸出 ○村内施設(山村開発センター、役場、診療所)に図書コーナーの設置	○ <b>臨時職員1名（元・子どもの読書活動支援員）が図書業務全般を担当している。勤務歴は10年程度。学校・保育所関係の業務も担っている。図書業務に専念することは困難で、マンパワーが課題。</b> ○立地的に高齢者や車のない住民はことな館への来館が難しいため、サービスポイントの設置や利用者宅への配本等を行っている。	【1人あたり貸出数】 2.6冊 【資料費】 150千円 【蔵書冊数】 9,375冊 【専任職員数】 - 人	【図書館システム】 × 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【物流拠点数】 1
31	中土佐町 ・文化館図書室 ・上ノ加江公民館図書室 ・大野見青年の家図書室	○上ノ加江公民館と大野見青年の家の両図書室に、図書館システム導入を検討 ○上ノ加江公民館の建替えのため、旧保育所に一時移転。規模を縮小して開館 ○資料の整理と除籍（主に、上ノ加江公民館の移転に伴う）	○3図書室とも基本的に臨時職員1名で運営。 ○文化館図書室は富士通の図書館システムを導入している。 ○ <b>一部の熱心な住民から町に図書館がほしいとの声も聞こえているが、職員や予算の確保等検討すべき課題が多い。</b>	【1人あたり貸出数】 3.2冊 【資料費】 1,210千円 【蔵書冊数】 34,331冊 【専任職員数】 - 人	【図書館システム】 富士通 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【物流拠点数】 3
32	三原村 ・中央公民館図書室	○施設の老朽化のため、新しい公民館を整備予定。 ・令和元年8月に建設着手。令和元年度末（令和2年2月末）に完成予定。 ・平屋建てで、図書室をはじめ教育委員会や会議室、ピアノ教室、調理室等を整備。 ○地域の集会所に本の定期配達（利用者の高齢化に伴い、単なる配達から読み聞かせにシフト。配達の際には、集会所の活動にも参加） ○学校での読み聞かせ（学校図書支援員が中心となり、読み聞かせボランティアや村の職員等に協力してもらっている） ○親子向けイベントの実施（読み聞かせと工作・料理）	○図書室担当の臨時職員と学校図書支援員、教育委員会の連携ができています。担当職員は、研修への参加率が高い。 ○高齢者に対する読み聞かせや、イベントの開催などいろいろなことにチャレンジしている。 ○集会所の活動にも参加するなど、利用者とのコミュニケーションが取れている。 5月9日訪問 【課題】 ○ <b>図書室の貸出手続きは手書きのカードであるため、OPACと連携した「お気軽システム」（数万円）の導入が求められる。</b> ○図書室は週休日に閉館しているため、住民は隣の市町村の図書館を利用しており、住民が利用しやすい時間と人的な支援を検討する必要がある。対策として、月に1回、日曜日の開室日を設けている。 【その他】 ○低年齢期からの読書習慣の重要性から、大人になっても本を当たり前に読んでいる環境作りを目指して、乳幼児や家庭での読書活動に力を入れていきたい意向。	【1人あたり貸出数】 0.11冊 【資料費】 100千円 【蔵書冊数】 7,132冊 【専任職員数】 - 人	【図書館システム】 × 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【物流拠点数】 1
33	仁淀川町 ・教育委員会 ・仁淀教育事務所 ・池川教育事務所	○図書館等を整備した中央公民館が耐震改修を予定 ・町立公民館耐震対策検討委員会を設置 ・今年度に設計し、来年度に工事着工予定。 ○仁淀教育事務所建替え移転	○役場2階に作られた図書コーナーは公民館に比べて雰囲気も良く活用の余地あり。 ○仁淀教育事務所は仁淀支所内に新築移転。図書は旧事務所に残されている。事務所に配置されている学校サポーター（元・子どもの読書活動支援員）が、仁淀地区・長者地区の図書業務も担当しており、県からの協力貸出利用の中心となっている。司書資格も取得しており研修へも積極的に参加している。学校支援等の相談もあり。 ○仁淀地区・長者地区はセルフサービスのため、貸出数等の正確な数字が把握できない。 5月23日訪問 【図書環境】 ○職員について <b>図書支援員の補助制度がなくなったことで人員を置くことができなくなったが、学校支援員の補助に代替えし、「学校サポーター」として継続して雇い、図書の管理を兼任しているため、学校に籍を置いている。</b> ○「図書の会」について 仁淀川町に図書館を設置するために活動している任意団体。メンバーは10人弱で、女性が多い。役場の職員や地域起こし協力隊の方もいる。県の移動図書が来た時に合わせて「図書の会」を開催し、本の選書などを行う。 【課題】 ○常駐の職員がいいため利用者の把握ができない。本を借りる手続きは自分でする。 ○仁淀川町は面積が広いが、図書機能の拠点となる施設がない。 【要望】 ・ <b>人員配置のための補助金の充実。</b> ・ <b>教育委員会以外の方も対象とした図書研修。広報の重要性などに重点を置いた研修。</b> ・ <b>自治体への図書館設置に向けた働きかけ。</b> ・ <b>図書館のない自治体への児童図書の長期貸し出しの充実。</b>	【1人あたり貸出数】 - 冊 【資料費】 520千円 【蔵書冊数】 3,669冊 【専任職員数】 0人	【図書館システム】 × 【WEB-OPAC】 × 【図書館ホームページ】 × 【運営形態】 直営 【物流拠点数】 3